

「元気もりもり 四日市」

森 ともひろ通信

第6号



あなたは 0 5 4 7 1 9 人目の読者です。

33歳 四日市市議会議員

5,493票の重みを受け止め、4年間走り続けます!

4月24日に行われました四日市市議会議員選挙にて、市民の皆様から5,493票という多くのご支援を頂き、市議会議員として4年間の任期を与えて頂きました。1年半前に市政への挑戦を決意し、東京から地元四日市に戻り9ヵ月間という短い期間での挑戦と、大変厳しい選挙でありましたが、多くの方々に支えられ市議会議員としてのスタートラインに立つ事が出来ました。



私には議員としての実績は全くございません。私に託された全ての票は期待票であります。この大きな期待を重く受け止め、この4年間でその期待を実行・行動に移していく事が私に課せられた使命であると考えております。

私は、これまで四日市市の財政問題解決の糸口として公認会計士としての実績を活かした行財政改革を推し進める事、また、四日市の将来を担う若い世代の声を市政に届ける事を主軸に訴えてきました。当選後も、その方針を変えることなく議員活動に邁進していきます。

今回の四日市市議会議員選挙の投票率は50.9%と前回の投票率53.3%から2.4ポイント減少し過去最低を更新しました。政治を諦めてはいけません。政治離れが進む中、現役最年少の四日市市議会議員として、市民の皆様が政治を信じ、政治に期待して頂ける様に4年間走り続けます。



議会報告 [5月開会議会/6月定例月議会]

5月1日より、四日市市議会議員の任期が始まりました。私は、「リベラル21」会派に所属することになりました。「リベラル21」には、新人議員5人を含む11名の議員が所属しており、この度の選挙を経て、四日市市議会において最大会派となりました。私の今後の議員活動は、当会派を軸に行われることとなります。

■5月開会議会

初議会となる5月開会議会では、今年度の議長、副議長の選出が行われ、議長には毛利議員（「リベラル21」所属）、副議長には三平議員が選任されました。議会の空気は独特であり、四日市市議会議員としての大きな責任を感じさせられるものでした。



■6月定例月議会

6月議会の一般質問において、私は60分の時間を頂き『今後の行財政改革の道筋』『観光都市四日市の創出』という2つのテーマについて質問を行いました。

市議会議員最初の質問は、私が以前から訴えていた「四日市の行財政改革」を取り上げました。「行財政改革」は、公認会計士として従事していた民間企業の経営や会計の経験を活かし、四日市の財政健全化を推し進めていきたいという、私の政治家としての原点である為、大変感慨深い質問となりました。市は平成23年度以降、3年間の収支見通しを試算しておりますが、支出が収入を上回る為、3年間で30億円ものコスト削減が必要になってきます。しかし、30億円ものコスト削減を実施する為、市が公表している施策・事務事業の見直し10項目について、市は具体的な金額削減目標を定めておりません。各項目に金額的目標（責任）が伴わない状況で、果たして本当に施策・事務事業の見直しを実施する事が出来るのか、という点を軸に質問を行いました。行財政改革は、必要な行政サービスの質を落とさずに、コスト削減を行わなければなりません。その為には、結果として30億円削減したというのではなく、施策・事務事業見直しの各項目に具体的な金額目標を設定し、しっかり実行していく必要があります。

また、市長の「観光戦略元年」発言や、今年度新たに市役所に観光推進室が設置されたことから、今後四日市の観光産業は大きな動きを見せることとなります。それを受け、2つ目の質問に「四日市の今後の観光戦略」を取り上げました。

詳細な質問や答弁内容については、市役所HPに録画が掲載されていますので、ぜひご覧下さい。



宮城県女川町 被災地レポート

3月11日に発生した東日本大震災は東北地方を中心に多大なる被害を及ぼしました。これまで、私自身も募金活動に参加するなどの活動を行ってきましたが、更に一步踏み込んだ支援が出来ないだろうかと考え、被災地支援活動として6月25～27日に掛けて宮城県女川町の炊き出しに参加してきました。私が参加した災害支援活動は、建設業者のマッチングサイトを運営する「建サク」さんが主体となっている『女川町災害支援の会』の取り組みであります。

下の写真が、炊き出しに参加した際に撮影した女川町の風景です。瓦礫は撤去されていますが、まだまだ被災地の復興は進んでいない状況です。炊き出しを行った場所は、女川町総合運動場の施設でした。この避難所には震災当初、1,000人も被災者の方が避難されておりましたが、現在では仮設住宅の建設も進み600人程となっているとのことでした。

炊き出しでは、串カツ、炊き込みご飯、ソーメン等、それぞれ1,000食作られました。私は、かき氷を担当しました。あいにくの雨で少し肌寒かったですが、少しでも盛り上げたいという思いから館内放送で「元気もりもり かき氷!!」とアナウンスをして頂き、元気一杯子供達にかき氷を配って来ました。

ここで、仮設住宅の話をし少しします。仮設住宅への入居は自活が前提となりますので、基本的に仮設住宅に入居すると公的な支援は受けられなくなります。しかし、ボランティアの炊き出しは私的な取り組みである為、仮設住宅の方にも炊き出しを食べて頂くことが出来ます。公的な支援でカバーし切れない部分を、ボランティア団体がカバーしている現状。こういったボランティア活動に被災地は支えられているということを強く感じました。今後も、一国民として、自分自身に何が出来るのかを問いながら、被災地支援に関わっていきたいと思います。被災地支援の詳細なレポートをブログにてまとめてあります。ぜひご覧下さい。

<http://ameblo.jp/mori-tomohiro>



朝の駅立ち再開!!

森 ともひろの活動の原点は、『朝の駅立ち』であります。平成22年9月21日から始めた朝の駅立ちは、選挙翌日分を含め、84日間となりました。また、その際に配布している「森ともひろ通信」は、20,000枚に到達しようとしています。

選挙後は、初めての議会活動等でなかなか駅立ちをする時間が確保出来ませんでした。6月定例月議会が終わり、多忙であったスケジュールも少し落ち着いて来ましたので、議会報告も兼ねて7月より再び『朝の駅立ち』を再開することにしました。以前同様、四日市の10の主要駅を中心に駅立ちを行います。朝6時半頃から開始予定です。

森 ともひろと共に四日市の未来を切り開きませんか!

森 ともひろは、「四日市の未来を切り開く!」という想いの下、過去の慣行や前例に捉われず、市政の問題や理不尽な部分について、徹底的に切り込んでいきます。森ともひろが切り込むべき四日市の問題点、議会にて取り上げるべき課題についての情報をお待ちしております。精査し取り組むべき内容と判断すれば、全身全霊を掛けて問題解決の為に動きます。

また、森ともひろ後援会入会希望の方、「森ともひろ通信」の定期購読希望の方、森ともひろの活動（朝の駅立ち、街頭演説、市政報告会）のお手伝いをして頂ける方、ぜひとも下記の森ともひろ後援会まで、メール又はお電話頂けますでしょうか。森 ともひろの活動を御支援下さい。

<森 ともひろ後援会連絡先>

〒512-1105 四日市市水沢町2452 TEL・FAX:059-329-2193 E-mail:genki@mori-tomohiro.net

HP: <http://mori-tomohiro.net> [HPにて、森ともひろ通信のバックナンバーを掲載しております。]



森 智広 プロフィール

学 歴

平成6年 西陵中学校 卒業
平成9年 四日市南高校 卒業
平成13年 立命館大学 理工学部 卒業
平成23年 早稲田大学大学院
公共経営研究科 修了

職 歴

平成15年 公認会計士第2次試験合格
平成15年 中央青山監査法人 入所
平成18年 あらた監査法人 入所
平成19年 公認会計士登録
平成21年 プライスウォーターハウスクーパース株式会社 事業再生/再編グループ 出向
平成22年 あらた監査法人 退所
平成23年 四日市市議会議員選挙にて、5,493票の付託を受けて当選 [現役最年少]



森 智広 メモ

スポーツ

小学校:サッカー
中学校:野球
高校、大学、社会人:ラグビー
最近:日本拳法始めました
※根っからの体育会系です。

その他の活動

大学時代の4年間、滋賀県立希望が丘文化公園にてキャンプカウンセラーとして、ボランティア活動を実施